

共同獣医学課程 実務経験のある教員等一覧表（五十音順）

No	実務経験のある担当教員等			職務経歴		科目コード	実務経験関連 授業科目	関連する授業内容	
	所属	職名	氏名	時期（期間）	職種				職務内容
1	生命・食料科学研究部門	教授	木下 幹朗	平成 7 年 9 月～平成 10 年 8 月	科学技術振興機構	科学技術特別研究員（厚生労働省国立循環器病センター派遣）：循環器病疾患の発症メカニズムについて、おもに生化学・細胞生物学の手法を用いて解析した。	421180	生物化学	代謝系に関する講義について、上記の時に得られた知見手法を交えて講義をしている。
2	生命・食料科学研究部門	准教授	草場 信之	平成 9 年 4 月～平成 3 1 年 3 月	乳房炎における各種検査、獣医師及び酪農家への乳房炎防除対策の助言	乳房炎における各種検査、獣医師及び酪農家への乳房炎防除対策の助言	511830	生産獣医療学実習	乳検情報の解析について、現場で経験した臨床例を材料に、より具体的に実践的な演習を行っている。
3	環境農学研究部門	准教授	熊野 了州	平成17年4月～平成 19 年 3 月 平成19年4月～平成27年 3 月	沖縄県植物防疫協会 琉球産経株式会社	研究員， サツマイモ害虫に関する生態学的研究及び防除技術開発	421160	生態学	昆虫の生態学的研究の知見を活かし、生態学における動物の個体群管理に関する
4	環境農学研究部門	教授	小池 正徳	昭和61年 4 月～昭和63 年 3 月	(株) サカタのタネ 君津育種場 研究員	アブラナ科作物（キャベツ、コカブ、菜っ葉類）の育種学・栽培学・病理学的研究および農家への栽培指導	421130	土壌栽培学基礎	土壌栽培学基礎における作物保護学分野（植物病理学・応用昆虫学）の教育に関しては、サカタのタネ研究員時代の経験に基づいた知識を講義の参考にしている。
5	環境農学研究部門	助教	小山 耕平	平成11年4月～平成11年12月	農業研修生（大学を1年間休学）	農業研修生として、住み込みで、三重県および熊本県の有機農業を行う農場で働く。 (三重県いわん農場、熊本県坂本農場)	421160	生態学	環境に配慮した農畜産業の保全への応用の観点から、生物と環境との関わりについて講述する。
6	人間科学研究部門	講師	斉藤 準	平成 21 年 10 月～平成 24 年 9 月	北海道大学 高等教育推進機構	特定専門職員：学生への正課外学修支援および教員への教育支援	351130 352040 421220	物理学概論 物理学実験 基礎物理学	授業外学習の教材開発や学生サポート、授業内学習のアクティブラーニングなどに実務経験を活用している。
7	獣医学研究部門	准教授	都築 直	平成 2 0 年 4 月～平成 2 2 年 3 月	北海道農業共済組合連合会	診療業務（牛）、家畜共済制度の運用	511700 511710	放射線獣医療・画像診断学 放射線獣医療・画像診断学実習	いずれも臨床の科目であり、臨床経験を有するため、実症例を提示して教育ができています。 また、幅広い動物種の臨床経験があるので、様々な観点から教育をすることができています。
8	生命・食料科学研究部門	教授	西田 武弘	昭和63年 4 月～平成20年 3 月	農林水産省畜産試験場，畜産草地研究所，国際農林水産業研究センター	黒毛和種牛の胎子を妊娠したホルスタイン種乳牛の、分娩前60日間の妊娠に要する代謝エネルギー量を求めた。茶系飲料残渣をサイレージにして牛に給与し、その飼料価値を検討した。3年間タイ王国に駐在。インドシナ半島諸国で利用可能な飼料の実態を明らかにし(飼料資源データベース)、現地の牛への適正給与水準を明らかにし、英語版飼料標準を作成。	351020 421100 421360 512050	農畜産科学概論Ⅰ（畜産学） 家畜家禽論 共通教育総合Ⅰ（家畜と環境問題） 家畜栄養学	畜産草地研究所でのウシ飼養管理に関する研究を担当していた経験を活かし、これらの講義では、家畜の飼料、栄養素の知識、消化管の構造、吸収機構、体内での代謝、消化率、その測定手法、代謝病等について、現場での効率性、実用性を重視した講義を展開している。
9	人間科学研究部門	准教授	平館 善明	平成 10 年 9 月～平成 16 年 3 月	東京都立中学校および私立中学・高等学校	中学校技術・家庭科および高校情報科の非常勤講師を担当	362060	教育原理	教員実務経験にもとづき、現場の実情を反映させながら、授業を構成している。

No	実務経験のある担当教員等			職務経験			科目コード	実務経験関連 授業科目	関連する授業内容
	所属	職名	氏名	時期(期間)	職種	職務内容			
10	獣医学研究部門	准教授	廣井 豊子	平成2年4月～平成 4年2月 平成12年10月～平成 13年9月	製薬系民間企業 研究所	抗菌薬の開発, 食品中に含まれる自然毒の高感度検出キットの開発に従事	511520	獣医公衆衛生学	実務経験に基づいて、食品衛生上、あるいは、公衆衛生上問題となる人の疾患について、講義、実習を行う
							511530	獣医公衆衛生学実習	
				511540	食品衛生学				
				511560	食品衛生学実習				
				601440	獣医公衆衛生学(※新カリ)				
				601460	獣医公衆衛生学実習(※新カリ)				
11	生命・食料科学研究部門	助教	山下 慎司	平成20年4月～平成26年3月	福島県 研究員	短大での食品科学講義および加工実習 社会人への専門講義および実習(醸造) 食品の成分分析・機能性分析 食品の放射性物質分析	421210	分析化学	短大での食品科学講義および加工実習 社会人への専門講義および実習(醸造) 食品の成分分析・機能性分析 食品の放射性物質分析
12	人間科学研究部門	講師	ロメロ ホシノ イサミ	平成 24 年 4 月～平成 24 年 7 月	日本外務省研究省	中南米書国に派遣される若手の外交官にラテンアメリカ政治の非常勤講師を担当。	361100	政治学	外務省では、ラテンアメリカ政治の基盤である大統領制と民主主義の仕組みを教えた。この簡単バージョンを学部学生に教えている
13	人間科学研究部門	教授	渡邊 芳之	平成 2 年 4 月～平成 3 年 3 月	長野県松本児童相談所	心理判定員(非常勤)として心理検査の実施、判定に従事した。	362070	教育心理学	「教育評価」の単元、「個性の評価」のセッションで各種心理検査の原理、実施法、判定法について講義している。
				平成 3 年 4 月～平成 3 年 10 月	心理検査会社「日本・精神技術研究所」社員(常勤)	内田クレペリン検査その他の心理検査の判定業務に従事した			